奈良 市民だより

No.218

発行所 奈良市役所
奈良市東寺林町38(郵便番号630)
電話(0742)㉓1111番
(1日・15日発行)　全戸配布

奈良市民憲章

奈良は日本のふるさと。美しい自然とすぐれた文化遺産を守り、古都に住むものにふさわしい自覚と誇りに生きましょう。

奈良は未来をひらくまち。青少年は健康で、はつらつと、正しく強い人間になりましょう。

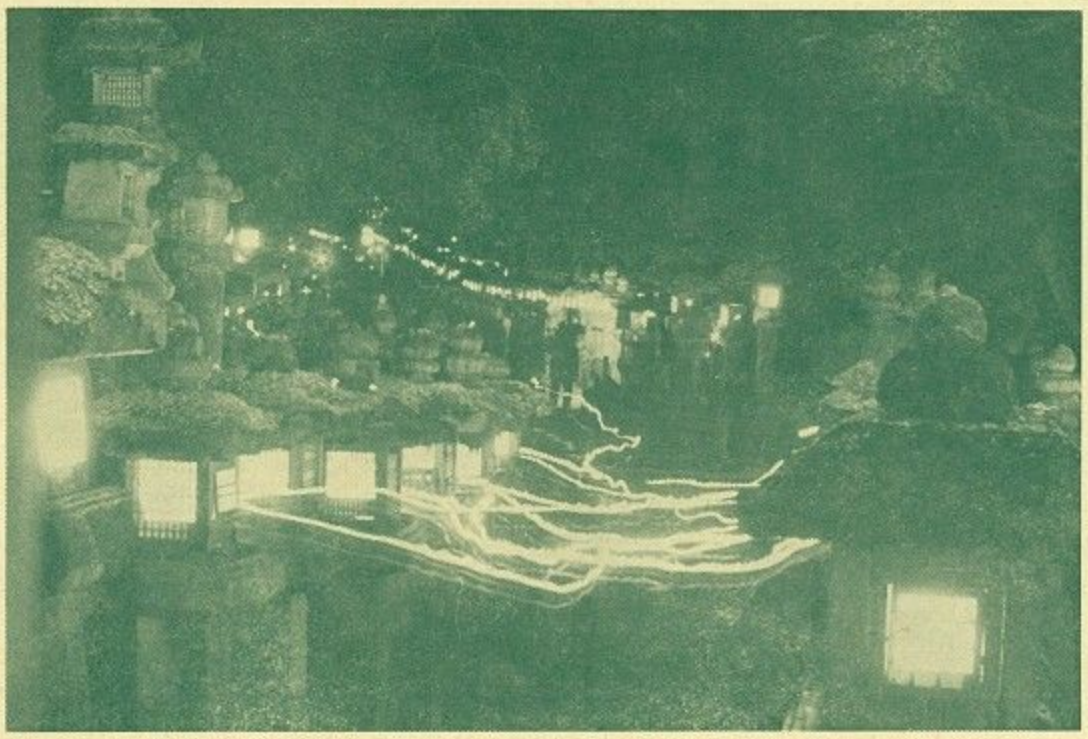
奈良は善意のまち。みんなのしあわせのために、おたがいに助けあいましょう。

奈良は清潔で平和なまち。旅行者にはあたたかく親切に接しましょう。

奈良はのびゆくまち。市民の創意で、伝統と調和のとれた新しい住みよいまちづくりをしましょう。

市民の動き
(2月1日現在)

人口	209,674
男	101,832
女	107,842
世帯数	62,607



雪化粧のとうろうに幽玄の灯（左右に流れた光跡は献灯のときのもの）

三年間に交通事故半減へ

「公害交通課」を新設

鍵田市長「日本一事故の少ないまちへ」

世はまさに〝公害時代〟—私たちの郷土奈良は、幸い大都市のような公害はありません。いまのところ〝交通公害〟がその最たるものといわねばなりません。奈良市は、自動車の増加と観光客の殺到で、年々交通事故がふえています。鍵田市長は何とかこの交通事故を奈良市からなくしたいと、対策を検討していましたが、このほど三本柱を基本にした構想が出来あがりましたので、二月三日交通関係各機関の担当者と市庁別館で交通全安対策協議会を開き、専門的な立場からの意見をききました。

この日出席した方は

奈良国道事務所管理課修繕係長石居重行▽奈良陸運事務所輸送係長山崎裕唯▽奈良県警察本部交通部長伊庭彦七▽同交通部警部久谷信雄▽奈良警察署長山口賢治▽同署交通課長上平雄三郎▽奈良県交通対策協議会事務局長石田兵作の各氏で、市側から鍵田市長、宮田建設局長、高瀬企画部長、仲尾企画第二・川村土木両課長、森井教育長、林学校教育課長らが出席しました。

まず、鍵田市長は「奈良市は幸い空気はきれいし、水もゆたかにしたし、緑もいっぱい。まことにめぐまれている。この中で公害といえば交通公害が一ばん大きい。市としてはこれを何とかしなければならない。息長くやっていかねばならないが、私はとりあえず三年間で交通事故を半分にし、日本一事故の少ないまちにしたいと決心した。火災発生件数を三年間で半分にし、日本一火事の少ないまちをつくり得た体験から、自信をもって取り組んでいく。それには直接関係のある国や県、また民間の各機関の全幅的な協力がなければやれない。貴重な経験によるよい知恵を貸していただきたい」とあいさつ、四月一日から市に公害交通課(仮称)を置いて真剣に取り組んでいくことを明らかにし、市が試案としてつくった「市交通安全対策基本構想」を示しました。

この基本構想を中心に話をすすめ、警察側からは、安全対策投資は長期にわたって膨大な資金が必要なこと、運転者の再教育に意を注ぐこと、また奈良での交通事故死は老人が多いので、老人を保護することによって死者を半減させられることなど、こまかいサジェストがありまたその他の機関からも、住宅街の造成に先がけて、まずアプローチ道路の建設が必要なこと、駐車場設置を配慮すること、住宅街は各戸にガレージをつくるよう指導することなどが指摘され、交通対策協議会側からは奈良市を交通安全都市宣言都市にすべきだと提案。

市では、これらの意見を織り込んでさらに構想をかため、四月の新年度を目標に、実施計画を進めることにしました。なおこの協議会を母体に法令による市交通安全対策会議をつくることも考えています。

「せんだく板道路」もつくる

市の対策基本構想を提示

当日提示された市交通安全対策基本構想のあらましはつぎのとおりで、①交通安全施設の整備②交通安全意識の徹底（市民運動の展開）③平和な家庭・平和なまちの建設—が三本柱となっています。

交通安全施設の整備　奈良市の道路の総延長は約千二百二十五キロで、自動車の通過台数は国道24号線と阪奈道路だけで一日平均四万二千台(四十五年)となっている。経済社会の発展にともなう輸送革命の進展で自家用車の増加、車両の大型化など、交通の危険度は飛躍的に大きくなろう。まず歩行者の安全を第一に、つぎの安全施設の整備を積極的に推進する。

①歩道、車道の分離
②ガードレールの設置
③歩道橋の設置
④信号灯の設置
⑤各種標識の整備
⑥せんだく板道路の設置
⑦ストップアイの設置
⑧センターラインの整備
⑨バスストップの整備
⑩通学、通園路の整備と標識の設置
⑪道路照明の整備
⑫道路清掃の推進

市民総ぐるみの運動を展開

交通安全意識の徹底（市民運動の展開）　国や地方の各機関で道路の整備、交通規制、交通違反の取締まりが行なわれているが、それだけでは交通事故の恐ろしさや不幸な結果を解消することにはならない。最も大切なことは市民一人一人が交通道徳を高め、みずから交通事故を回避する能力を身につけねばならぬ。そのための交通ルールの啓発、交通安全意識の徹底が必要である。交通安全に模範的な行動のできる人間を育て、生命尊重の精神に徹した人間教育が問題解決の要素である。その具体的活動計画については、警察、教育委員会、その他関係機関、諸団体が相互連絡を密にして実効のある運動を展開する。市としてはおおむね次の事項を推進する。

①「積徳運転」の奨励
②交通道徳の高揚
③交通安全推進組織の確立
(イ)市交通安全対策会議の設置＝交通安全計画の作成と諸施策の推進を円滑にするため、各関係機関との連絡調整をはかる。
(ロ)交通事故をなくす市推進本部の設置＝この運動は、市民全体がみずからの問題として運動推進者の一人だという自覚のもとに、幅広く層の厚い組織づくりが必要である。地域、集団、自治会を母体とした全市民的組織が最も効果的だが、さらにママさんグループとかドライバーの組織化なども考える。その効果的推進体制の中心として市推進本部を置く。
(ハ)交通安全母の会結成
(ニ)交通安全推進協力員の設置
④市民運動の展開
(イ)「交通事故0の日」の設定
(ロ)VTRの製作
(ハ)交通災害共済への加入促進
(ニ)アンケート調査（意識調査）の実施
(ホ)ワッペン、リボン等の配布
(ヘ)広報活動の推進
(ト)講習会、安全研修会の開催
(チ)学校での交通安全教育の推進
(リ)積徳運転者の表彰
(ヌ)無事故運転者の表彰
(ル)各種掲示板の設置
(ヲ)交通白書の発行
⑤交通安全羽織の配布
⑥交通安全手帳の配布

平和な家庭・平和なまちの建設

①環境の整備＝植樹、カラー舗装など
②自然歩道の整備
③通園・通学路の設定
④お買物道路の設定
⑤道路を広く使う運動の展開
⑥ごくろうさん・早寝早起き運動の推進

万とうろう　雪化粧にはえる

節分の夜が静かにふけて、春日さんのとうろうに灯が入る。二月三日夜六時、神前にそなえた浄火をカンローソクに移して神職や巫女、一般の参拝者が、回廊一千の釣どうろうや参道二千の石どうろうに一つ一つ入れてゆく。夕方に降った小雪にうっすらと雪化粧したとうろうの風情はまた格別。

年二回だけの万とうろう。社殿では舞楽が奉納され、めっきりふえた外人の見物客が、ワンダフルと声をあげる。寒気をついて集まった参拝者は二〜三万人、カメラのフラッシュが森のしじまにしきりにひらめく。

れるほのかなあかり。古都ならではの幽玄の世界である。節分とお盆の

すかし彫りの火袋から白い紙を通しても

印刷／共同精版印刷株式会社

一日に五件が発生

事故減っても死傷者ふえる

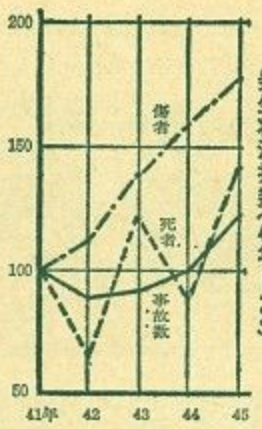
交通事故統計から

奈良市内の交通事故発生状況は、四十一年を基準にすると、件数は四十二、三年と減ったが、四十四年から上昇し四十五年では二七%の増加となり、心配すべき兆候を呈しています。これを表にするとつぎのとおりです。（漢数字下の洋数字は指数）

	事故件数		死者		傷者	
41年	一四六	100	一七	100	二三六	100
42年	三九	89	二	65	三五四	111
43年	一三六	92	二四	141	一五六	136
44年	一四八	100	一五	88	一七五	159
45年	一八三	127	二五	147	二〇〇一	178

これで明らかなように、事故発生件数は年ごとに増減があるが、傾向としては四十二年から上昇カーブを描いています。これによる人身の損傷は四十一年の事故指数に比して恐怖的な増加を示し死者で五割近くふえ、傷者では八割近い激増となっています。とくに傷者の数は、事故が減った年も依然としてふえつづけ、これにつれていたましい後遺症患者も当然ふえているわけです。

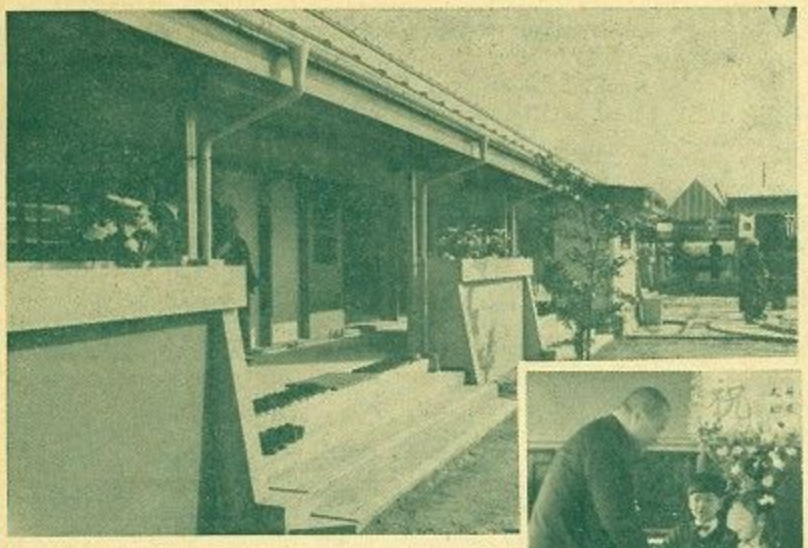
奈良市内での事故件数の増加率は県下の増加率（24%）をやや上回り、死者も全県下増加率（1%）をはるかにしのぎ、傷者数は同じ増加率となっています。



奈良市内の交通事故発生状況指数（41年＝100）

これら市内の交通事故発生状況を道路の長さでみると、四十五年一年間に一キロ当り一・五件ずつ事故が起き、百キロごとに二人が死に、一キロごとに一・六人が負傷、一日に五件ずつの事故があり、六人弱が死傷するといういたましさ。

市内で一ばん事故件数の多いのは、やはり国道24号線で四十五年中に三百五十二件、一日に約一件ずつを記録し、その中でも県庁～大安寺陸橋と陸橋～北之庄が目立って多く二百五十四件。県道では奈良～大和郡山～斑鳩線が一ばん多く二百五十八件、ついで奈良～天理線百三十四件となっています。市道では旧市街地が三百十九件と一ばん多く、ついで西郊住宅地百九十二件と圧倒的に多い。



初の"奈良の色"

シンボルカラー

新築の大安寺幼稚園に

市立大安寺幼稚園（園長東井亨氏、園児百三十四人）の新築園舎落成式は一月二十六日に挙行されました。いままで小学校に併設していましたが、園児の増加でせまくなったため、独立園舎を建てたものです。

この日鍵田市長、武村市議会副議長はじめ市議会議員、地元代表ら約八十人が出席。鍵田市長は「幼児教育日本一をめざす奈良市に、その方針がうちだされた最初の幼稚園舎である。奈良のシンボルカラーもとり入れた」とあいさつ、武村副議長らの祝辞につづいて園児代表の木本賢君（五歳）と和田久仁子さん（五歳）が「あかるい幼稚園をたててくださってありがとう。これからみんな元気で仲よくします」とかわいい喜びのお礼を述べました。

新園舎は鉄骨平家建て、床面積約五百七十平方メートル、保育室三、リズム室一と管理諸室をそなえ、総経費約五千二百五十万円で昨年八月着工しました。園舎の仕上げには、とくに色彩の調和に心がくばられ、鍵田市長の提唱で「青丹よし」の青と朱をシンボルカラーとして取り入れたのが特徴で、室内の色調はもちろんのこと、外回りも遊具、フェンスまで青と朱を基調にした色調に統一され、明るい中にも落着きと調和をもった近代的な感覚を印象づけます。

このシンボルカラーは、この園舎にはじめて採用されたもので、今後は市の建造物はすべてこの色調をつかうことになっており、将来は市街地全般に行政指導して、古都にふさわしい都市色をつくりだしていく方針です。＝写真はシンボルカラーで仕上げた大安寺幼稚園舎　（右）鍵田市長と握手する園児代表

街頭に 交通安全 少女の立像

運転者に贈る遺児の作文集

もう"交通遺児"をつくらないで

市内で交通事故のために父を奪われた義務教育課程の子どもさんは三十二人（小学生十九人、中学生十三人）、世帯にして二十二あります。これら交通遺児を励ますため、市では昭和四十四年度から奨学金制度を実施して月々の学費を補助しています。昨年六月、これら遺児とその母を励ます会を開いたときの要望もあって、一月二十六日その母と子のつどいを市高円公民館で開きました。法蓮立花町中尾節子さんら四人が世話人となって開いたもので、お母さんと子どもさん十二人ずつが出席、お互いの親密を深めながら話しあいました。

まず市の善意銀行などに"交通遺児のために"と寄せられた浄財十二万八千五百円をどうすれば有意義に役立てられるかについて「自分たちの不幸をつぎつぎに繰り返さないために、交通事故防止に役立てたい」ときめ、等身大の少女像二体をつくり、交通量が多く危険な奈良郵便局前と循環道路の適当なところに立てることを決定しました。この少女像は、いまはやりの交通警官マネキンに代って、自動車運転者に「交通遺児をつくらないよう、安全運転を…」と呼びかけます。

また、遺児たちの作文を集めて文集をつくり、警察を通じて自動車運転免許証に添えて、新しい運転者に渡してもらうこともきめました。悲しい交通禍のかげに泣く幼い心の訴えが、少しでも運転者の心を動かして安全運転の実をあげてもらえば…との切ない願いからです。

知事選挙

最低の住宅街投票成績

一月三十日執行された奈良県知事選挙は、現職の奥田良三候補が当選し、六選を果しました。奈良市内での各候補の得票と得票率（%）はつぎの通りです。（敬称略）

	得票	得票率
奥田良三	三三、〇二三	四〇・二
八木一男	四三、六四八	五三・一
小針　実	四、六八七	五・七
かどま竜一	七九〇	一・〇

こんどの選挙は、市選挙管理委員会の棄権防止呼びかけにもかかわらず出足は意外に悪く、当日有権者十四万六百三十三人中、八万二千五百九十五人が投票しただけで、投票率は五八・七%と、過去五回の知事選挙の最低を記録、次第に低調化していく選挙民意識が心配されます。四年前にくらべて有権者は市内で約三万二千人ふえているのですが、投票者はいずれも八万二千人台なので、数字の上ではその増加分がすべて棄権したことになります。

全市五十八の投票区別投票成績は別表のとおりで、最高は第四十五投票区（誓多林町）の八五・五%で、第四十（北椿尾町）の八五・四%、第五十二（大平尾町）の八四・七%がつづき、大体東部山間地域が好成績でした。これに対し投票率の低かったのは西郊の新住宅地域で、第二十六（鶴舞東町）の三八・七%を最低に、この選挙で投票区を新設した第五十八（中登美ケ丘）の三九・五%のほか第三十一（鳥見町）の四八・四%、第二十三（西大寺芝町）の四九・六%などいずれも五〇%を割っています。

知事選挙

投票区別投票成績表

投票区	投票所所在	当日有権者	投票者	投票率
1	少年刑務所	1,928	1,304	67.6
2	東之阪児童会館	936	713	76.2
3	鼓阪小学校	4,804	3,363	70.0
4	西勝寺	1,222	832	68.1
5	飛鳥小学校	8,695	5,385	61.9
6	西井石油	6,529	3,587	54.9
7	済美小学校	4,820	2,835	58.8
8	梅谷大教会	3,074	2,013	65.5
9	称名寺	2,961	1,860	62.8
10	佐保小学校	5,927	3,749	63.3
11	一条高校	1,810	1,099	60.7
12	白藤学園	4,828	2,674	55.4
13	三条会館	2,503	1,740	69.5
14	市庁別館	3,856	2,549	66.1
15	椿井小学校	2,929	1,803	61.6
16	公民館佐紀分館	2,186	1,265	57.9
17	都跡公民館	3,092	1,773	57.3
18	西の京町公民館	4,269	2,275	53.3
19	公民館山陵分館	1,646	1,072	65.1
20	公民館秋篠分館	1,718	959	55.8
21	中山町集荷場	1,414	985	69.7
22	伏見小学校	1,938	980	50.6
23	伏見地区連絡所	6,887	3,414	49.6
24	公民館あやめ池分館	3,574	1,955	54.7
25	学園前ショッピングセンター	4,938	2,576	52.2
26	鶴舞小学校	6,190	2,398	38.7
27	西円寺	1,834	1,167	63.6
28	ひかり幼稚園	1,169	801	68.5
29	富雄北小学校	3,340	1,837	55.0
30	富雄中学校	1,659	935	56.4
31	富雄団地集会所	4,725	2,289	48.4
32	富雄南小学校	1,839	1,244	67.8
33	大安寺公民館南部分館	2,767	1,736	62.7
34	興豊館	477	360	75.5
35	辰市小学校	1,857	1,092	58.8
36	杏町市民館	684	488	71.4
37	明治小学校	2,029	1,183	57.7
38	帯解小学校	2,780	1,877	67.5
39	精華地区連絡所	450	329	73.1
40	地福寺	199	170	85.4
41	上の坊	345	247	71.6
42	古市町市民館	1,394	1,000	71.7
43	東市公民館	2,410	1,675	69.5
44	田原連絡所	1,413	1,083	76.6
45	公民館誓多林分館	124	106	85.5
46	水間町公民館	465	386	82.5
47	旧柳生出張所	780	616	79.0
48	公民館邑地分館	381	308	80.3
49	公民館丹生分館	268	220	82.1
50	大柳生小学校	897	627	70.0
51	大柳生幼稚園	311	253	81.4
52	大平尾分校	144	122	84.7
53	相和小学校	347	254	73.2
54	東里公民館	182	136	74.7
55	鳴川キャンプ場	322	230	71.4
56	旧狭川出張所	582	430	73.9
57	学園大和町集会所	2,899	1,513	52.2
58	登美ケ丘カトリック幼稚園	6,886	2,723	39.5
	全市合計	140,633	82,595	58.7

市政懇談会（抄録）

昭和四十五年度の市政懇談会は、既報のとおり昨年十一月三十日の辰市地区を最後に、全市二十三地区をすべて終りました。その席で出された要望事項と市側の回答の主なものは市民だよりに掲載してきましたが、一方この懇談会で「やりましょう」と市が約束したものは、新規に計画したり、新たに予算措置を必要とするものを除いてすべて年度内解決への積極的な努力を傾けています。

ちなみに、この懇談会がはじまった昭和四十二年度から同四十四年度までの三カ年の実績は、昨年十月までに要望数千二百六十三件に対し、完成件数は九百四十九件で完成率は七五・一％となっています。四十二年度分は七八・七％、四十三年度分七六・九％、四十四年度分七〇・七％という内訳で、残りは新規計画と新規予算によって逐次要望にこたえるべく、血のかよったキメのこまかい施策の実践へと奥行きを深めています。

＝この抄録は今回ですべてを終りました。

私道の市移管をはやく

あやめ池地区　空地など雑草処分も

【あやめ池地区】　昨年十一月十七日あやめ池公民館で。市側から鍵田市長、川戸助役、植村水道・宮田建設両局長、森井教育長、木山公室長、玉川総務・小谷民生両部長、西田社会福祉事務所長、川村土木・滝川自治振興両課長ほか、地もとから四十三人と向川市議会議員らが出席。

◇①この地区の道路舗装はどうなっているか。②南四丁目から五丁目までの三百メートルを早く舗装してほしい。南四丁目は去る昭和四十一年度に三分の一を地もと負担で舗装してもらったが、まだ百五十メートル残っており、負担金を出した家の前が未舗装というのは公平を欠く。③小学校付近の通学路の舗装を早く。

——①この地区は本年度二百メートルを舗装する。新春早々に着工の予定。②おっしゃる未舗装の部分は四十六年度の計画に入れている。③所有権者の前田さんの厚意で使わしてもらえるようになったので、本年度に舗装する。山手の方も前田さんの了承を得てコンクリートの側溝を二月ごろ着工する。

◇①あやめ池町四丁目に通ずる道路わきのゴミを片付けてほしい。②近鉄ぞいの堤の下にみぞがあるが、草が茂って掃除もできない。近鉄へ申しいれて年に一、二回清掃してもらってほしい。③空地の雑草が茂って物騒だ。刈取ってほしい。

——①ゴミが不法に捨てられているのは確かだ。さっそく取り除いたうえ、立札を立て有刺鉄線を張って防止する。その他の部分は皆さんのご協力で清掃してもらい、一定の場所に積んでもらえば、清掃車を出して取りのける。②あやめ池駅東の香川病院～西大寺の軌道ぞいのことと思う。近鉄の所有地なので実地調査をして同社へ申し入れよう。③火災防止の見地から消防署が自治会や土地の所有者へ依頼状を出して、刈り取ってもらうようにしている。自治会でも協力ねがいたい。

◇①あやめ池南一丁目から東への私道を早く市に移管して舗装し、下水工事をやってほしい。②蛙股池への水路を確保し、十分清掃してほしい。

——①地もとから市議会へ請願書が出され、企画建設委員会で審議中だ。在来の道路が家ごとに買収されているところもあって非常にむつかしい。道路の所有者から寄付採納の手続きがあってはじめて市道に認定することになるので、地もとでも十分協力してもらい早く市道に認定できるようにしたい。②清掃は過日実施した。占用水路の問題は調査している。

◇風致地区内の道路を市で管理をねがいたい（南二丁目自治会）。

——松尾材木店北側道路のことだが、これについては市と県、行政監察局の三者が集まって、当時の資料などを検討した。その結果は、この道路は昭和十四年伏見町当時に一部廃道となっているので認定市道ではなく、国有財産であることがはっきりしている。したがってその管理は財務局と県である。いま県に引継いである。

◇南四丁目を通っている下水管は、昭和二十年以前に近鉄が宅地造成につくったもので、細くて排水能力がない。雨のときは水が道路上にあふれて歩けないし、宅地内に浸水する。ますます戸数がふえるので、早急に改修されたい。

——毎年排水管をさらえているが抜本的な方策は非常にむつかしい。公共下水道事業と関連させてよく調査しよう。

◇南二丁目の音楽学校前広場はいつも車の置き場になっている。これを借り受けて児童遊園に活用してもらえないか。

——土地所有者の近鉄と話し合って、貸してもらえるなら児童遊園として遊具の設備も考えよう。

◇あやめ池小学校の教室増築と用地の確保はどうなっているか。

——五十年度で二十五学級になると思う。現在二十学級だが四十六年度は二十一～二十二学級、四十七年度で二十二～二十三学級と予想され、増築となれば東側に用地を広げたい。地もとでも十分協力してほしい。

◇この地区での住居表示はどうなっているか（南五丁目自治会）。

——十月五日公民館で地もと自治連合会長さんらとの説明会を開き、いま事務局で町界や町名案をつくっている。近くこの案を自治会長さんに説明する段階になっている。第一次としてあやめ池駅から南側の住居表示を三月市議会に提案し、これは五、六月ごろに実施したい。駅から北はこれに引きつづいて実施したい。なお学園南二丁目とあやめ池南五丁目が一つになって南苑自治会をつくっているので、地もとの意見を十分尊重していきたい。

舗装用資材の増加を

狭川地区　広岡橋、46年度かけかえ

【狭川地区】　昨年十一月二十日旧狭川出張所で。市側から鍵田市長、川戸助役、宮田建設局長、森井教育長、玉川総務・小谷民生・川尻経済各部長、西田社会福祉事務所長、川村土木・仲尾企画第二・滝川自治振興各課長ほか、地もとから三十三人と佃・中北両市議会議員らが出席。

◇①市から支給されている市道舗装用資材をふやしてほしい。②道路補修資材の運搬に狭い道路でも走れる小型車の配備を望む。③市道の改良・補修を促進してほしい。

——①四十五年度は前年度より三〇％増加支給する。この地区では本年度に約三百メートルの急坂舗装用の資材を支給する。②最近生コンクリートを支給しているが、四トン車を基準にしている。それが入らないところは、できるだけ小型車の使用を考えよう。ただし小型車では運搬費があがり、それだけ資材の支給が減るようでは困るだろう。③四十五年度にこの地区の路線を調査し、改修の必要なものは四十六年度に実施しよう。

◇農林道の市道に組み入れは？

——広岡町中央線一・五キロ、西狭川—日ノ下線一キロと思うが、現状では認定基準に合致していないので市道に認定するわけにいかぬ。いま全市の私道約百三十キロを公道にできるよう指導要領をつくっている。

◇広岡橋の応急修理をねがう。

——四十六年度でかけかえるが、とりあえず応急修理をしよう。

◇市に買収された公共用地の移転登記をいそいでほしい。

——市に合併する以前の未登記分はなかなかむつかしい点がある。不明分は十分調査して書類をつくり、印をもらい登記するが、未登記分は東部出張所へ申し出てほしい。なお水道用地の未登記分については、水道局でしらべて自治会長へ連絡する。

◇①興東中学校の体育館兼講堂の建設を進めてほしい。②相和小学校の遊具を充実し、幼稚園兼務の専任事務職員の配置を考えてほしい。③老朽化した狭川幼稚園舎の改修と補修をねがいたい。

——①早急建設の線でいま検討している。規模は生徒数できめる。②四十六年度からさらに年次計画をたてて不足の遊具を充足するつもりだ。相和校もその計画の中で検討する。専任事務職員は現在興東中学校と兼務で一人配置しているが、一校一事務職員の線で人員確保を県へ強く要望していく。③危険園舎になっているので、早く対策をたてたい。

◇スクールバスが運休しているが、早く復活するよう、県と奈良交通へ申し入れてほしい。

——ダンプカーによる土砂採取で六—七月にかけスクールバス運行に大へんな支障をきたしてご迷惑をかけた。教育委員会から関係機関に善処方を要請したので、いまは平常運行にもどったはずだ。

地区公民館がほしい

◇①市はいま地区公民館の建設を進めているが、狭川にも地区公民館がほしい。②下狭川下町公民館分館の改築に補助してもらいたい。

——①市全体の公民館についてはさきに合併した地区から考えねばならぬ。現在は南部と西部の二つの地区公民館を建設中（注・南部は十二月に完成）で、そのあと市中央公民館をつくりたい。東部については山間の特殊性や交通事情を考えて、できれば小学校区ごとに整備された分館の建設を考えている。②分館は市内に百余りあって、ほとんどが地もと所有の財産なので、維持管理もお願いしている。施設のほとんどが改築なり大修理をせねばならぬ時期がきており、市はその経費の一部を"お祝い"という形で出している。

◇青少年の体育向上の場としてのグラウンドをつくってほしい。

——市としては、青少年だけでなく、市民全体を対象としたグラウンドの設置を考えているが、小学校ないし中学校区単位ということはむつかしい。とりあえず学校の校庭をその目的のために開放するということで検討している。

◇ここは無医地区なので、市立の診療所がぜひほしい。

——市としてもぜひ必要と考えているが、肝心の医者がいないのが現状だ。せいぜい努力したい。

◇狭川地区の農業振興対策をうけたまわりたい。

——ここは、中山間地帯として従来特産の花丸キュウリや軟白ずいきの共同集荷をやっておられるし、土地基盤整備事業も三カ年にわたって助成してきた。共同出荷態勢も整ったので、これら特産を中心に振興をはかりたい。さらに農業振興地域の指定も受けたので、早く地もとと具体策を相談して、整備計画をたてねばならない。朝鮮ニンジンとかワサビなどはどうだろうか。

◇①全額市費で消防ポンプを購入してもらいたい。②防火用水施設をつくりたいが、市にはどの程度助成してもらえるか。

——①市の財政事情から地もと負担金ゼロにはできかねる。いままでの例によると、購入価額三十八万円に対して二十三万円を地もと負担として出してもらったが四十五年度からは、その三分の一、十三万円に軽減した。今後さらに軽減するよう努力する。②防火用水施設は、消防水利基準により最小限の水利の設置が定められている。この地区では地形や市街地・密集地といった点からこの基準に合致しないので国の補助が受けられず、市費負担ということになるが、これは財政事情から無理だろう。市消防長によく話してもらって、その上で考えよう。

◇廃品集積所を設置し、年四回程度定期的に取りにきてほしい。

——この地区は清掃条例では特別清掃区域になっていないので、ゴミは自家処理してもらっている。不燃物については三カ月に一回程度の収集計画をたてているので、あらかじめ日時・集積場所・量などを出張所を通じて連絡してもらえば集めに来る。集積所は地もとで設置してほしい。計画を話してもらえば、ある程度の助成はしたいと考える。

◇改良便所をつくった場合、助成してもらえるか。

——生活改善事業の一環として、一時は奨励のため助成したことがあったが、今は助成措置はない。

市道各線の舗装拡幅を

精華地区　道路パトロールも強化

【精華地区】　昨年十一月二十四日精華小学校で。市側から鍵田市長、川戸助役、宮田建設・植村水道両局長、森井教育長、玉川総務・川尻経済・小谷民生・高瀬企画各部長、川村土木・杉本福祉・滝川自治振興各課長ほか、地もとから四十八人と森田市議会議員らが出席。

◇つぎの市道についてそれぞれ舗装、拡幅など整備をしてほしい――①高樋―田原線の高樋町～正暦寺本堂間二・三kmの拡幅と人家のある部分一kmの舗装。②興隆寺―米谷線起点の県道～名阪国道五ケ谷インター間五百五十mの拡幅。③名阪インター―中畑線のモーテル（建築中）前―中畑町間六百mの舗装。④高樋―椿尾線の椿尾橋～地福寺間一・五kmの拡幅。⑤中高樋線の県道交差点～辻本宅前間百mの拡幅。⑥高樋―虚空蔵線二百五十mの拡幅。⑦中高樋―安明寺線のうち中高樋起点から村岡宅前まで百五十mの舗装と、村岡宅前～公民館間百四十mの拡幅舗装。⑧興隆寺―南椿尾線の県道から寺までの二百m、県道から下へ百mの各舗装。⑨弘仁寺参道線の植田宅前急坂部分と同宅前交差点から高樋～和爾線交差点までの各六十mの舗装。⑩高樋町内寺山線の県道交差点から急坂部分七十mの舗装。⑪安明寺谷線谷宅前までの急坂部分九十mの舗装。⑫南椿尾線の高樋―椿尾線三差路から下へ百m、墓地から下へ四百mのそれぞれ舗装。⑬米谷―中畑線の西下宅前から大塚宅までの五十mの舗装。⑭米谷―福住線の名阪国道高峰レストラン下の国道カルバートから下へ百mの舗装。⑮郷倉―大道線の七百五十mの舗装。

――市道については、道路整備五カ年計画で六十km（工費六億二千万円）を舗装する計画で進めている。東部山間部は第一次計画に入っていないが、第二次計画で四十七年度から実施したいと考えいてる。①～⑥までの分は第二次計画で調査し、基準に合う道路から手がけていく。⑦⑧は四十六年度から資材支給でやっていく計画だが、一部は四十五年度で実施する。⑨～⑮については、材料を四十六年度から支給するよう計画している。

◇市道高樋―山村線の早期完成をねがいたい。

――これは道路整備五カ年計画に入っており、帯解地区からも要望があったが、ため池や用水路などに問題があって遅れている。いろんな条件が出そろったので、四十六年度に用地を買収して、四十七年度に着工したい。道路幅については失対事業で実施した計画を対象に考えていきたい。

◇市道パトロールを強化し、いたんだところはすぐに直してほしい。

――月別の計画をたてて二台の車でパトロールしているが、いまのところ一校区一ヵ月に一日の予定となっている。緊急事態発生のときなどは連絡してもらえば優先して出動する。

◇①虚空蔵橋を早く改修してほしい。②農地造成のため善提山川が荒れる。改修を早くしてほしい。

――①いま調査中で、応急補修を考えている。全面かけかえは四十六年度に計画している。②河川改修は建設局、農地造成は農林課と仕事が分れているが、開墾には下の河川に被害を及ぼさないよう注意しながら実施していきたい。

◇①精華小学校舎の改築はどうなっているか。②同幼稚園舎と運動場の完備をねがいたい。

――四十六年度からいっしょに建設していく。いま校地を拡張中で、規模は六学級のものを考えている。幼稚園は一学級の計画だ。

青少年　野外活動センターの開設

◇①青少年野外活動センターの開設が要望されているが、計画はどうなっているか。②公民館施設の充実について、市費でまかなってもらえないか。

――①現在鳴川教育キャンプ場があるが、狭くてあまりよくないので、新しくつくることを考えている。候補地は五、六カ所あるが、精華地区は最有力候補地の一つに入っている。一日三百人ぐらい収容できるキャンプ場を考えている。場所はさらに検討する必要がある。②公民館分館の管理運営はすべて地もとにお願いしている。地もとで新しく建てられる場合は、市から最高三十万円を補助する。その増額については新年度予算で検討する。公民館活動が活発になっており、小学校区ごとに設備の整った公民館の建設が望まれているが、当地区では小学校、幼稚園の改築が急がれるので、これと併せ考える必要がある。

◇水道施設を拡充し、給水区域の指定をしてほしい。

――水源については慣行水利権の問題などで解決が若干遅れている。早急に解決したい。設計その他については準備を進めており、四十五年内には終りたい。上水道給水区域の指定は県営水道の受水時期に考えたい。四十八年度になるだろう。

◇し尿のくみ取りとゴミの定期収集を実施してほしい。

――当地区はいずれも特別清掃区域に指定されていないので、自家処理が建前となっている。し尿の自家処理ができない家については、戸数と汲取日をまとめて連絡してもらえば、清美公社と話し合ってできるだけご要望にそいたい。不燃のゴミについては三カ月に一回程度収集する計画なので、日時・集積場所・量などを連絡してもらえば集めに来る。

薬草栽培に希望者募る

◇①精華地区の農業経営についての市の見通しはどうか。②薬草栽培とマツタケの人工栽培に対し、市の指導、助成はどうなっているか。

――①当地区は中間農業地帯であり、平地・山間農業を取入れた経営を推進するとよいと思う。作物としては花キ類を奨励したいし、薬草栽培も試験的にやっていく。また農業振興区域整備計画についても地もとと具体的に相談する。②米の生産調整にともなう転作として薬草を取上げた。いま試験栽培の希望者をつのっている。マツタケの人工栽培は京大農学部などでテストの段階で、まだ普及するところまでいっていない。可能ということになれば考えたい。

◇老人クラブ補助金の手続きをもっと簡略にしてほしい。

――国と県が三分の二を補助している。あくまでクラブ活動に対する補助金で指導・監査が行なわれるくらいだ。手続きの簡略化は市だけではどうにもならないので、国と県へ強く要望している。事務を円滑にするための指導は市の福祉事務所でやっているので遠慮なく相談してほしい。

人権相談員の担当日

市役所（市庁別館）に開設している市民相談室では、毎週金曜日に人権相談に応じています。相談員の担当日はつぎの通りです。＝敬称略

第1金曜日＝武村常太郎・赤堀綾子・片寄秀
第2金曜日＝東雲茂男・狭川明俊
第3金曜日＝上田政治・島田米造・奥和田寛
第4金曜日＝植松宗平・石原フジ
第5金曜日＝法務局職員
（注）　法務局人権擁護課長または職員が毎週出席して相談に応じます。

辰市校は七月完成へ

辰市地区　通学専用道路設置を

【辰市地区】　昨年十一月三十日辰市小学校で。市側から鍵田市長、植村水道局長、森井教育長、木山公室長、玉川総務・川尻経済・小谷民生・高瀬企画各部長、西田社会福祉事務所長、川村土木・滝川自治振興両課長ほか、地もとから五十人と山尾市議会議員らが出席。

◇六メートル道路を早く完成させてほしい。

――四十五年度から用地買収にかかり、国道24号バイパスとにらみ合わせて改修する計画で進んでいる。

◇①交通安全のため学童の通学専用道路を設けてほしい。②南永井町・北永井町から都南中学までの通学道路を舗装してほしい。

――①農道を通学道路として利用することは、今すぐにというわけにはいかぬ。教育委員会とよく相談して検討する。②都南中学校前の東西線はいま工事中で、一月末には完成する。北永井町・南永井町からの道路は四十六年度に防ジン舗装を考えたい。

◇街路灯器具がいたんでいる。改善して整備ねがいたい。

――四十四年度から計画的に実施しており、順次白熱灯を切換えている。器具の損傷は連絡してもらえばケイコウ灯と取りかえ整備する。ケイコウ灯新設は当地区で八灯を予定しており、うち四十五年度で五灯、また自治会管理分の市移管は三十六灯で四十五年度に十八灯を引取る。

◇①辰市小学校改築の今後の見通しは？②都南中学校に特別教室を増設し、校地の東と南にカキをしてほしい。

――①いま拡張用地で努力している。造成でき次第着工して七月に完成する計画だ。第一期工事として普通教室十二、特別教室三、給食室を予定している。さらに四十九年度までに普通教室一、特別教室二、体育館の建設を考えている。プールも考えていきたい。校舎の雨もりは授業に差しつかえぬよう考慮する。越境入学は四十三年度から通学区の適正化をはかって絶滅に努めているが、至って合法的にやられるので困っている。

前川の改修は46年度までに

◇十二メートル道路に敷設してある水道本管から支水管を引けるように処置してほしい。

――基本配水本管から各戸配水管の接続はできない。いまどうすればよいか、敷設方法とか負担方法を検討している。

◇前川の水害と用排水についての対策はどうなっているか。

――四十四年度に前川の水害防止について基本調査をして対策をたて、四十五年度から着工する。県の管理河川も同時に着工される。四十五年度に右岸百メートル、左岸六十一メートルの護岸工事をし、四十六年度で県管理部分の下流まで改修する。前川と岩井川の間に水路を一本つくり、水害を防ぐ。学校建設に伴う鉄砲水などの心配は、排水対策を十分進めたい。

◇辰市に中央公民館をつくってもらえないか。

――小学校区ごとに充実した公民館をつくるのが理想だが、いますぐというわけにいかぬ。ここ一、二年はブロックごとに建てて、そのあとで考えよう。小学校改築のときに公民館として利用できるような特別教室をふやすなども考えられる。

◇児童・生徒の善導に補導委員の増員を願いたい。

――中学生の補導は大へんむつかしい問題で、学校の先生にお願いしたい。現在七人の補導員で子どもの危険防止、非行化防止に当ってもらっているが、手がまわらないようだ。都南中学校区を単位に補導協議会をつくってもらい、地域ぐるみの補導活動を願っている。

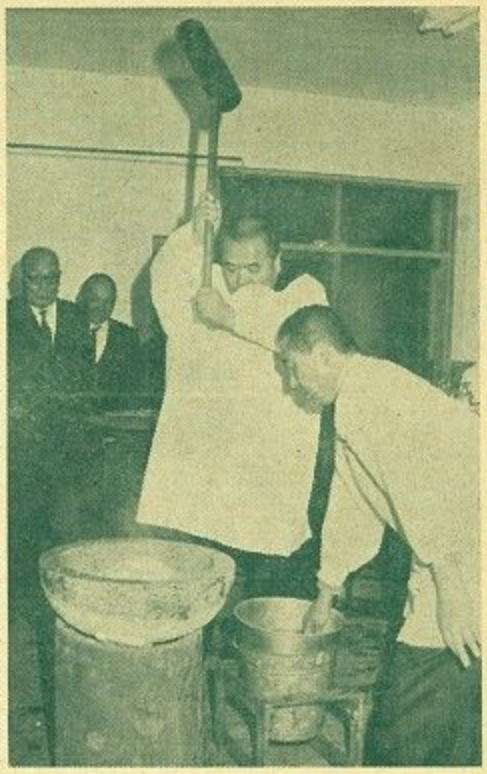
◇新都市計画法に基づく市街化区域での農業行政のあり方はどうか。

――市街化区域は、積極的に市街化を図ろうとする区域で、この区域の農業行政は防災的および災害復旧工事などの事業以外の農業投資には国の援助は期待できない。援助のあるのは市街化調整区域内で農振法の指定を受けた地区に限られる。市街化区域内の農地に対する固定資産税が宅地なみになるかどうかは、国でもまだ結論が出ていない。

◇公害対策と同和対策について市の考え方は？

――公害は、環境保全の見地から調査している。とくにいまは、大気汚染、水質汚染について検査しているが、四十六年度から企業公害などに取り組んでいく。郡山市からのゴミ焼きの煙公害については、こちらから強く申入れた結果、プレス式清掃工場に改築されることになったので緩和されると思う。ご指摘の臭気公害はすべて企業体の責任になっており、国でも防除に対する援助の方針が確立されていない。市としては八都市会で県に対し、四十六年度に公害防止に対する補助金の制度化を要望した。

同和対策については、県の同和対策室を通じ県関係課へ強く要望することにしたい。



◀ 鍵田市長も力こめてペッタンコ（和楽園で＝右は植田同園理事長）

◀ 校倉をつつむ放水の幕（正倉院防火演習）

◀ 鼻でかいだり飲んでみたり（きき茶大会で）

◀ ピカソやゴッホそこのけの作品がずらり（幼稚園児作品展で）

古文化財へ鉄壁の守り

文化財火災予防週間中の一月二十八日正倉院で防火訓練が行なわれました。午前十一時正倉院北側の雑木林から出火、校倉に燃え移ったとの想定。

出火と同時に皇宮警察本部の消防隊と地元特設消防隊、市消防本部からポンプ車四両、総勢七十人が出動、四基の放水銃と消火センをフルに開きいっせいに放水、千二百余年の風雪に耐えぬいた校倉を水のベールでつつみました。

奈良は古文化財の宝庫。一度火災を出せば千何百年来の民族の宝は一朝にして灰に化してしまう。奈良市の消防陣はこれを守らねばならないのです。法隆寺金堂が炎上した一月二十六日を中心に文化財火災予防週間が設けられ、全国的に文化財防火の真剣な訓練がくりひろげられ〝ノーモア法隆寺〟の鉄壁の守りが固められるわけです。

楽しいもちつき

和楽園でペッタンコ

老人ホーム和楽園（紀寺南方町、居住老人百二十人）では、二月八日午前十時半から恒例のもちつきとぜんざいの会を催しました。

これはお年寄りに、好きなぜんざいを存分に食べてもらおうと民生委員の人たちがもち米やお金を持ち寄って、毎年行なっているもので、お年寄りたちの楽しみのひとつ。鍵田市長も訪れて、元気にキネをふるいました。

食堂では、お年寄りが全員集まり早速つきたてのやわらかいもちをぜんざいにして食べ大喜びでした。

サテ、この銘柄は？

田原で「きき茶大会」

茶銘を当て合いする「きき茶大会」が二月一日大和の茶どころ田原地区の県茶業分場（矢田原町）で開かれました。

この行事は、よい茶をつくるには、茶のよさを見分ける素質を身につけることが大切と、奈良市田原農業研究会連合会（岩名良祐会長）が十年前に〝闘茶会〟として始めたもので、茶業にいそしむ農村青年らの親ぼくをも兼ねています。

大会には六十二人の茶生産者が出席、冷蔵庫に保存していた昨年の一番茶、玉露、冠茶、初茶上、初茶下などがつぎつぎに出され、茶の香りや色、味などで何という茶銘かを当て合いました。入賞者はつぎのみなさんです。（敬称略）

【団体】一等＝杳掛農業研究会▽二等＝長谷農業研究会▽三等＝中之庄農業研究会

【個人】一等＝小林良業（杳掛）▽二等＝林成美（杳掛）辻善示（中之庄）▽三等＝宮中清（杳掛）岡本正憲（中之庄）清水恵治（長谷）

わーい、うれしいなあ

鳥見小学校の体育館とプールが完成

見ごと完成した鳥見小体育館

市立鳥見小学校（藤原善春校長）では六百四十八全児童待望の屋内体育館兼講堂とプールが完成、三月三日鍵田市長、児童、父兄ら四百人が出席して落成式を挙げました。

鉄筋鉄骨造り平家建て、延べ床面積六百二十六・一八平方メートル。プールは鉄筋コンクリート造り長さ二十五メートル、幅十三メートル。鍵田市長は「りっぱな施設が出来た。この施設を十分つかって足の太い子、魂の太いりっぱな子に育ってほしい。このような機会をよい手がかりとして歴史的な伝統のある地域の鳥見校として努力してください」とお祝いし、児童代表は「こんな立派なものを建ててくださってありがとう。しっかりがんばります」とお礼をのべました。

ゴッホ、ピカソ顔まけ

幼稚園児の作品展

市教育委員会・市教育協議会幼稚園部共催の第九回奈良市立幼稚園こども作品展が二月四日～六日まで県文化会館で開かれました。

この催しは幼児の絵画や製作活動を単に技術面からでなく、幼児の内面にはたらきかける活動として指導し、幼児教育の重要性を認識してもらうため開かれたもの。市立二十二幼稚園から、各園における幼児の一年間の生活の中から生まれた絵画や粘土細工、工作など約五百点が出品されました。幼児画の発達過程としては錯画期（乱画期）から象徴期（前・後期）図式期に分類されますが、これを四歳児と五歳児を比較できるよう系統的に展示し、幼児期の心の発達過程がよくわかるようにくふうしてありました。ゴッホやピカソも顔まけするような自由奔放な作品に、見にきたおとなたちもホーッと感心していました。

固定資産税
都市計画税
【第4期分】
納期限は3月1日
税金は自主的に
納期内に
必らず納めましょう

おおいに語る

青年と市長との座談会

青年の声をくみとり、これを市の施策に生かして行こうと、三回目の「市長と青年の座談会」が二月四日、市町村共済会館「大和」で開かれ、鍵田市長と青少年指導員ら二十四人が活発に話し合いました。

市長と語る青年たち

はじめに青年たちの要望にこたえて、市長が自分の人生観を語り、そのあとつぎのような話し合いがありました。

【青年側から】青少年活動の場がほしい。▽青少年の野外活動に学校校庭を開放できないか。▽社会見学に市のバスを用意してもらえないか。▽指導員は奉仕でやっているが、旅費だけでも支給してもらえないか。▽こども会を指導して行動中、事故があった場合の処置についての市の協力を。▽こども会や青年の活動について、市民に理解をしてもらいたい。▽市長さんといっしょに先進地を視察し、これを指導面に生かしたい。▽指導員の研修場所がほしい。▽今後とも年四回はこうした会を催してほしい。

【市長のこたえ】施設面では、近く青年の館を建設し、そこへ青年みんなが気軽に集まって研修、スポーツ、読書、談話、よろず相談（とくに結婚問題）が出来るような総合的なものにしたい。▽学校施設開放については、管理面で非常にむずかしいが、要望にこたえるためにもよく研究しよう。▽見学用バスについては、マイクロバス一台を備え、利用をはかっているが、さらに大型バスも考えよう。▽指導員の費用弁償は当然必要、さっそく考えよう。そして指導員の自覚をもってもらうための処置も考える。▽団体活動中の事故の処置は非常にむずかしいと思うが、一度検討する。▽市民に青少年活動を認識し理解してもらうために、広報紙をもっと活用しよう。▽先進地視察は指導面に生かせるなら結構だ。まず姉妹都市慶州市へ行っていただくことを考える。▽研修場所については、奈良は歴史のまちだから、その勉強をする機会をつくろう。▽こうした会を今後とも開くことは意義あることなので、努力しよう。

慶州市長かわる

慶州市長朴用根氏は昨年十二月二十八日付で退職、後任に金昌坤氏が発令されました。

旧軍人・軍属・引揚者などへの相談

県厚生課では、三月三日(水)市内池之町奈良市庁別館で午前九時から午後四時まで旧軍人・軍属・引揚者ならびに遺家族の援護関係法令についての相談所を開きます。

毎年のように一部改正されて複雑になっているこれら援護関係諸法令を直接関係のある方々によく知ってもらうため県の専門職員が相談に応じます。

結核検診

市の結核レントゲン検診（住民検診）の3月前半の日程はつぎのとおりです。あなたの家の近くまでレントゲン車が巡回しますので、この機会をのがさずぜひ受けてください。レントゲン撮影は、ボタンや金具のない下着なら、着たままで受られます。受診料はいりません。

〔3月前半の日程〕

地区	日	時間	場所
鼓阪	1(月)	10.30～11.30	川上西町秋田氏宅前
		1.30～ 2.30	川上東町川上町会所前
		2.30～ 3.30	川上東町中沼商店前
	2(火)	9.30～10.30	水門町吉田氏宅前
		11.00～12.00	春日野町柳沢氏宅前
		1.30～ 3.30	三笠山麓町若草駐車場内
	3(水)	11.00～ 2.00	三笠温泉三笠温泉前
	4(木)	10.00～11.00	東阪2丁目児童公園前
		11.00～12.00	般若寺町市営住宅前
		1.30～ 2.30	般若寺町植村医院前
		2.30～ 3.30	奈良坂町松村自治会長宅前
	5(金)	10.00～11.00	東包永町松岡ブリキ店前
		11.00～12.00	川上八反田町藤山商店前
		1.30～ 2.30	雑司西町つざかや前
		2.30～ 3.30	雑司東町大谷美容前
椿井	8(月)	10.00～11.00	馬場町スターフォート前
		11.00～12.00	小川町北野米穀店前
		1.30～ 2.30	漢国町漢国神社前
		2.30～ 3.30	小西町市町村会館前
	9(火)	1.30～ 3.30	椿井小学校
済美	9(火)	10.00～12.00	桂木団地管理事務所前
	10(水)	10.00～11.00	杉ケ西町藤本自治会長宅前
		11.00～12.00	杉ケ中町江西商店前
		1.30～ 2.30	大森町誠光舎クリーニング店前
		2.30～ 3.30	西木辻中町下出商会石油給油所
	11(木)	10.00～11.00	西城戸北方町松岡医院前
		11.00～12.00	東木辻町理容キク前
		1.30～ 2.30	南京終西町ナラレース前
		2.30～ 3.30	京終地方西側町奈良青果市場内
	12(金)	10.00～11.00	南京終町南都木材KK前
		11.00～12.00	肘塚們町山中氏宅前
		1.30～ 2.30	中辻北方町八千代モータープール前
		2.30～ 3.30	井上町山上電気商工前
	15(月)	2.30～ 3.30	肘塚新町児童公園前
飛鳥	15(月)	10.00～11.00	中院町上田自治会長宅前
		11.00～12.00	薬師堂町御霊神社前
		1.30～ 2.30	新屋敷町立石運送車庫前

おいしいわネ！

大好評のみそ作りとみそ料理講習会

あり余るお米で自家用のみそをつくりませんか―鍵田市長の提唱で、昨年七月奈良市自然食品普及会（会長鍵田市長）が発足し、家庭みそづくりを全市的にすすめてきました。

本年度はまずみそを再認識してもらうことからはじめ、家庭でできるみその作り方のパンフレットを配布、また市内を中学校区別に分けて地域の婦人会の人たちを中心に、高円公民館から料理教室の先生を講師に招き、みその作り方からみそを使った料理の講習会をひらいてきました。

こうして講習を受けた婦人たちが各地区へ持ち帰り、いま全市的にみそづくりが普及しようとしています。

講習を受けた人の中には、みその使い方がこんなにいろいろあるとは知らなかったという人もあって、終始熱心に料理にとりくんでいました。

昨年十月二十日三笠中学校区を皮切りに春日・伏見・富雄・若草・都南の各中学校区での講習会を終りました。料理はサバのみそ煮、みそ汁、豚肉のカラシ酢みそ、みそオデン、鉄火みそなど種類も多く、出来あがったこれらの料理をみんなで試食しました。

講習に参加できなかった人のなかにはみその作り方や、みそを使った料理の作り方の問い合わせが市にあいついでいます。とくに鳥見町、鶴舞、富雄団地などいわゆる西郊地区の主婦たちの関心が高く、市が作ったパンフレットを市役所西部出張所にも準備しているがたちまちのうちになくなってしまいます。

これに力を得て、四十六年度はいよいよ本格的にみそづくりを推進する計画です。

市企業職員を募集

申込み2月25日まで

昭和四十六年度奈良市企業職員採用候補者を次の要領で募集します。受験希望者は二月十五日から二月二十五日までに、市人事課内の奈良市職員任用試験委員会へ手続きをしてください。お問い合わせは同委員会（電話㉔一一一一番）へ。

◇職種＝点検・集金員とポンプ操作員（各若干名）

◇受験資格＝本市への通勤が可能なもので、昭和十八年四月二日以降に生れ、かつ高校以上の学校を卒業したもの。

◇採用試験＝【第一次】二月二十八日（日）奈良市役所本庁で筆記試験。発表は三月上旬本人あて通知。【第二次】三月上旬、市庁別館で面接による口述試験。発表は三月下旬本人あて通知。

◇受験手続き＝二月十五日から二月二十五日までに試験申込書（市販の履歴書を充用）、学業成績証明書および卒業証明書、写真（六カ月以内に撮影したもの二枚）を市職員任用試験委員会へ提出。募集要領は同委員会へ請求してください。郵便による請求は、返信用切手をはった封筒を同封のこと。

いっせいに ねずみ退治

殺そ剤を各戸配布

市衛生課では今年もねずみのいっせい退治のため、強力殺そ剤を六万二千の全世帯へ無料配布します。これはクマリン系の粒状で、一世帯一袋（五十グラム入り）ずつを、二月十五日から三月十日までの間に、業者→自治会長→各戸の経路で配ることにしています。これの使用については次のことに十分注意してください。

①食品と区別し、とくに子どもの手の届かぬところに置く。

②ねずみは夜行性の動物なので、薬剤は夕方にならべる。

③固形ですからとくに容器はいりません。新聞紙などにのせ、壁ぎわや物かげなど、ねずみの通りそうな場所へ置く。

お米の卸小売業者と米飯提供業者の登録

米穀類卸売・小売業者の登録と米飯提供業者の登録更新を今年度も実施します。受けられる方は三月三日までに、奈良市役所市民課へ次の関係書類を提出してください。

◉卸売と小売販売業者＝所定事項を記入・捺印した登録申請書と誓約書各二部（卸売業者は九千円、小売業者は九百円の奈良県収入証紙をはってください）。

◉米飯提供業者＝所定事項を記入・捺印した登録更新申請書と誓約書各二部（昭和四十五年度の米飯提供業者登録票＝うぐいす色＝と四百五十円の奈良県収入証紙がいります）。

◉注意事項＝以上各業者のうち、昨年の登録時から現在までに申請人氏名あるいは営業所の所在地に変更のあった方は、二月中に変更手続きをすませた上で申請のこと。

▽現在営業中の業者あるいは新規に営業しようとする米飯提供業者（この場合は九百円の奈良県収入証紙が必要）は、登録もれのないよう。

▽詳細は奈良市役所市民課庶務係（電話㉒七〇三〇番）へお問い合わせください。

来月15日までに

市県民税の申告

去年収入のあった人はもれなく

三月十五日は昭和四十六年度市県民税の申告期限です。昨年中に収入のあった方は、この日までにかならず申告してください。

市では「近者よろこび、遠者きたる」のまちづくりを理想として、すべての施策をすすめています。現在住んでいらっしゃる皆さんの市民生活をうるおいのあるものとし、その姿を慕う人人が遠くから安住の地として奈良へ集まるというようなまちづくりです。皆さんに納めていただく税金が、このようなまちづくりの財源として役立つわけです。四十五年中に収入のあった方は漏れなく申告していただき、納税にご協力くださるようお願いします。

申告用紙は市役所から二月中旬中に、それぞれお届けするはずで、昨年中に収入のあった方で、申告用紙が届かない方は連絡してもらえばお送りします。なお、税務署へ所得の確定申告をされる方や、勤め先から給与支払報告書を奈良市へ提出することになっている特別徴収の方は、申告の必要はありません。わからぬことがあれば、市民税課（電話㉔一一一一番）へお問い合わせください。

つどい2つ

老春の家

市老人福祉センター老春の家（市内法蓮町鴻の池・電話㉔三一五一番）では、つぎの二つのつどいを催します。市内六十歳以上の方の参加を歓迎、当日はまっ茶のサービスもあります。いずれも無料。

教養のつどい　二月二十七日(土)午後一時～三時▽「社会の白と黒」酸福寺住職熊木円実師「愛される人に」市社会教育指導員阪井啓次氏。

おどり鑑賞のつどい　三月七日(日)午後一時～三時半▽若柳吉千栄社中の日本舞踊。

競争入札指名願い

来月20日までに

昭和四十六年度に奈良市役所（水道局を除く）の物件について競争入札（見積り）に参加を希望する業者は、指名願いを三月二十日までに次の通り市管財課調達係へ提出してください。

▽提出書類＝物件供給入札（見積り）参加申請書。

▽添付書類＝①営業経歴書および営業報告書（営業実績書、現在取引き先、年間取引き物件名、数量、金額、特に官公庁についての取引き証明）。②営業品目書、定価表、カタログ、営業許可（認可）証、専売特許・実用新案などの権利を有するものはその証明。③使用印鑑届（法人は法務局、個人は市町村長で交付を受けた印鑑証明を添付）。④身元証明書（個人営業者または法人代表者および契約上の受任者）。⑤納税証明書（法人は法人税と地方税、個人は所得税と地方税の申請直前一年間の完納証明書）。⑥委任状（契約上の受任者をおくときに限る）。⑦誓約書（所定様式）。

▽その他＝①物件供給入札（見積り）参加資格は必要に応じて更改することがある。②申請書または添付書類の記載事項に変更があればすぐ届け出ること。③提出後の修正は認めにくいので十分精査の上提出のこと。書類は番号順に調整し、なるべく持参してください。④詳細は奈良市役所管財課調達係（電話㉔一一一一番）へ問い合わせてください。

固定資産課税台帳縦覧

地方税法と市税賦課徴収条例の定めによって、昭和四十六年度分の固定資産税にかかる固定資産課税台帳を関係者に次の日程で縦覧します。その際疑問点があれば説明させていただきます。なお、家屋の新増改築・地目の変換などされた方で、本年度決定した新評価額に不服のある場合は、三月三十日までに審査の申し出ができます。

▽縦覧のできる関係者＝納税義務者、その家族および代理権を有する代理人など。

▽縦覧期間＝三月一日から同月二十日まで。平日は午前九時～午後五時、土・日曜は午前九時～正午。

▽縦覧場所＝奈良市役所二階固定資産税課。